

『私のふるさと 熊本の大地震』

私は18歳まで熊本で育った。熊本は私の“ふるさと”である。現在柏に住んで40年近くになる。しかし甲子園の高校野球は熊本を応援し、国政選挙の結果なども、千葉よりも熊本の方が気にかかる。典型的な熊本県人である。

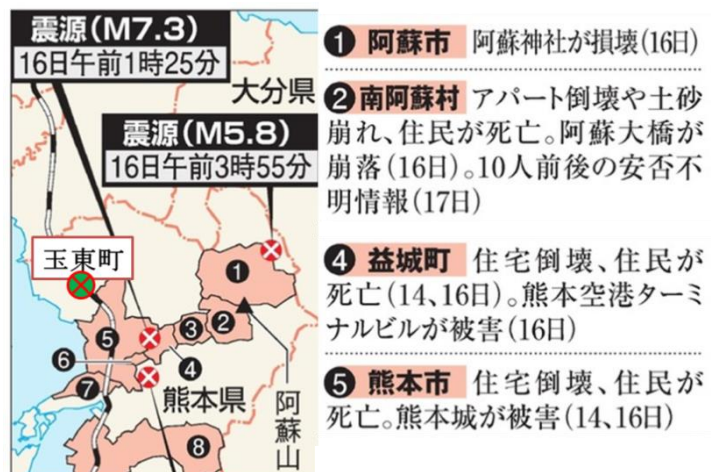
その熊本に大地震が発生（4月14日前震、16日本震）した。姉に電話が通じたのは14日の真夜中、姉をはじめ身内の方々の安泰を知って一安心。

被災地の状況は、連日TVで放送されている。震源地、益城町中心の潰された家々、南阿蘇の大規模な土砂崩れ、疲れ切った人々のすし詰め避難所風景など被災地の現状に心が痛む。

<主な被害状況>

4月30日現在

- ・ 死者 49人
- ・ 全半壊 約4万棟
- ・ 避難者 約3万人



熊本地震の主な被害（17日午後8時現在、朝日新聞ホームページより引用）と玉東町の位置

幸い私の生まれた故郷は玉東町で、震源地から約30km近く離れており、私の生家（築120年）も大きな被害もなかった。また、中高時代の友人達にも連絡を取ったが大事無かったようで、不幸中の幸いと思っている。

しかし相次ぐ余震で、姉は「落ち着かず、夜もゆっくり眠れない」と嘆く。今日も余震は続いている。

- ・ 私の生まれ故郷は「玉東町」（旧木葉村）で熊本市の中心部から約20km程の山村である。近くに西南の役で有名な“田原坂”があり、小学校の春の遠足地だった

今回の地震で熊本市のシンボルである“熊本城”も“水前寺公園”なども



大きな被害を受けており、改修には膨大な費用と時間がかかるようだ。私も、この名勝地には中学・高校時代に思い出が多く、この災害に心を痛めている。



熊本城天守閣の勇姿



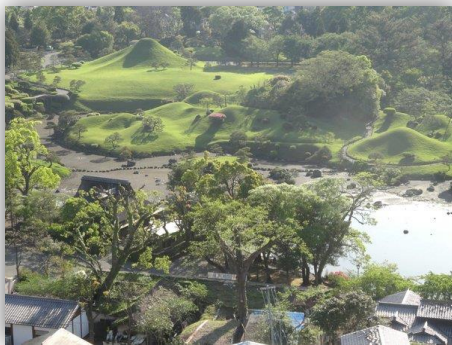
崩落寸前の飯田丸5階楼

熊本市の中学に通学したが、熊本城はその中学校の近くにあり、昼休みや放課後はよくお城で遊んだ。（当時は石垣と長塀だけの城址で出入りは自由）

水前寺公園は、高校時代下宿と学校の間であり、毎日通学の行きかえりは公園の中を通っていた。（ここも当時は出入り自由）



水前寺公園



震災で枯れた池

熊本は当地柏に比べ、自然災害の多い所である。台風には毎年悩まされた。水害事故も火灰土壌のため土砂崩れもしばしば発生した。

しかし、地震の記憶は全くなかった。ところが、127年前（明治22年）に熊本市一帯に地震が襲っている。死者20人、全半壊400棟あまりで、被災地は今回と同じ現在の益城町であった。今回に比べ小規模であるのは、余震は長期にわたり800回を超えた由。

地震発生から約20日。ライフラインや交通関もだんだん回復しているが、完全回復は時間がかかる。全国からの支援運動やボランティア活動など実施されて、ありがたいことである。今日もまだ余震が続いている。被災地が一日も早く収まり、避難所の生活が解消されることを望んでいる。私が現地に行ってもムダである。県産品の購入や義捐金など、出来る範囲で復旧を応援したい。

さて、この熊本地震を機会に私たちの足元を見て見よう。
我々の地域は、地震は大丈夫であろうか？この地域の活断層はどうなっているのか？
我が家の「非常用救急袋」の中身は大丈夫だろうか？

平成28年5月3日 広瀬 章